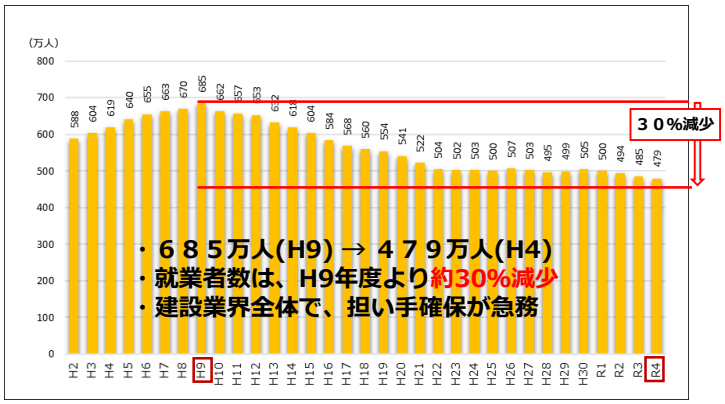
岡山市 OKAYAMA CITY

2026.11

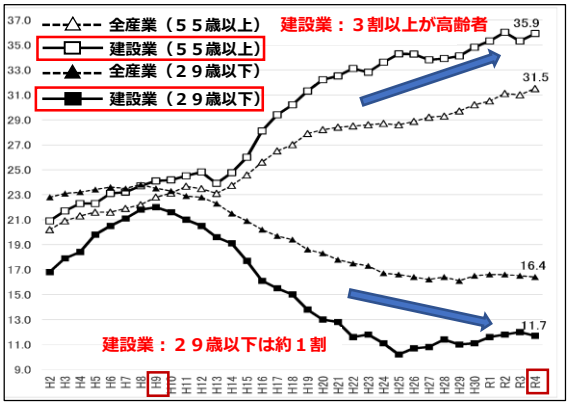
ICT活用で 建設現場の生産性向上に繋げよう！

建設就業者の推移



出典：総務省「労働力調査」（暦年平均）を基に国土交通省で算出

建設就業者の高齢化の進行



出典：総務省「労働力調査」（暦年平均）を基に国土交通省で算出

近年の人口減少社会を迎えている状況において、地域のインフラを支えている建設業の働き手の人材不足改善を図るため、生産性の向上等を進めていく必要があります。

岡山市では、「ICT建設機器を活用した工事（ICT土工など）」を建設現場に導入することによって建設現場における生産性の向上を図り、若年層等にも建設業に対して興味を持ち、魅力を感じてもらえる建設現場を目指す取組となる「i-Construction（アイ・コンストラクション）」を推進しています。

i－Constructionの推進に向けた取り組み

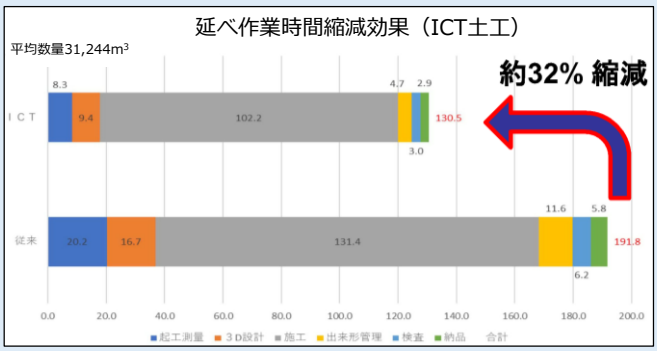
ＩＣＴ技術の全面的な活用

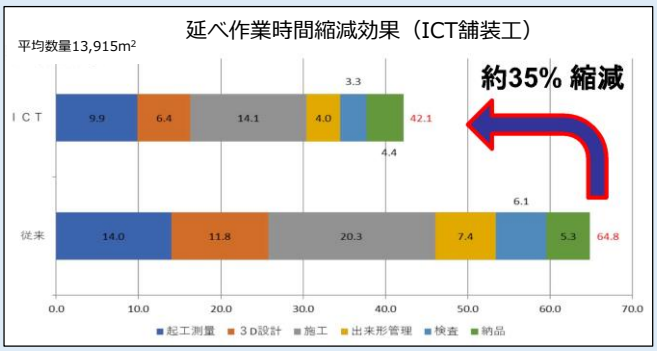
建設現場において、調査・測量、設計、施工、検査など、**あらゆる段階でICT技術を活用したICT施工を導入**することで、生産性向上や効率化を図る取り組み

＜ICT施工の効果＞　ICT施工により多くの効果が期待されています

- ◆ 危険な場所での作業や建機周辺の作業を減らすことで**安全確保**につながります。
- ◆ **作業の効率化が期待**されます。
- ◆ 自動制御できる部分が多くなることで、経験の少ない人でも熟練者に近い作業が可能となり、**熟練度に依存しない出来形や品質の確保**が可能となります。
- ◆ 工事現場の環境が改善され、**魅力ある建設現場のイメージアップ**につながり、さらに**人手不足の解消が期待**できます。

ＩＣＴ工事の実施状況





出典：国土交通省「ICT施工の普及拡大に向けた取組

裏面あり

＜ICT施工に向けた取り組み＞　対象工事と施工プロセス等について

ICT活用対象工事

発注者指定型

✓ 土工量3,000m³以上かつ設計金額1億円以上、舗装面積5,000m²以上の舗装工・舗装工（修繕工の工事で市が設定した工事

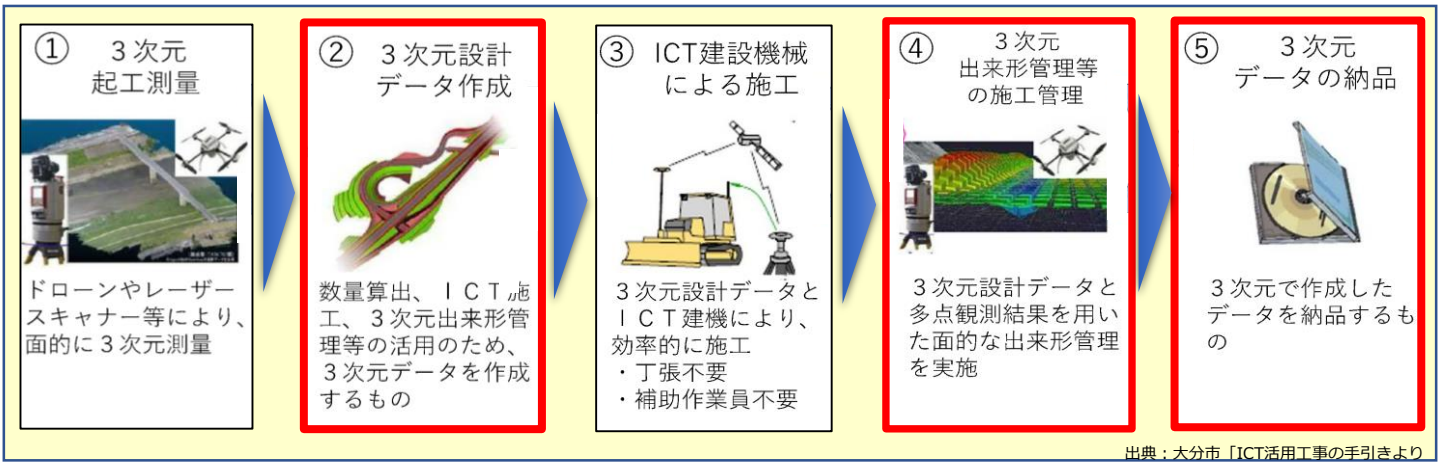
施工者希望型

✓ 発注者指定型以外で土工量が1,000m³以上の土工、舗装面積1,000m²以上の舗装工・舗装工（修繕工）、法面工、擁壁工
✓ ICT活用工事を希望する受注者は、契約後受注者と協議が必要です。

ICT活用工事の概要及び適用条件

✓ ICT活用工事は、**下記の①～⑤の施工プロセスにおいて、ICT施工技術を活用する工事**です。
✓ ただし、**一部を活用する場合は②④⑤を必須とし、①③は選択とする**。

ICT活用工事の施工プロセス



出典：大分市「ICT活用工事の手引きより

ICT建設機械の導入

✓ ICT建設機械は、**従来の建設機械にICT機器を後付けでICT建設機械として活用**いただけます。
✓ また、ICT施工には、建機を半自動制御するものと、**建機と目的地（設計データ）の位置関係をモニタ上に表示することで、オペレータを案内（ガイダンス）するもの**があります。

対象工種の拡大

✓ 今後も適用工種の拡大を予定しています。

ICT活用工事の実施に伴うメリット

✓ ICT活用工事の実施に伴い、**工事成績評定において加点評価**します。
✓ ICT活用工事を実施した場合、**積算基準に基づく設計変更の対象**とします。
※詳細は岡山市HPから「岡山市ＩＣＴ活用工事試行要領」をご参照ください。

＜中国ICTサポート企業・団体＞　サポート等の支援が受けられます

✓ ICT活用工事の普及促進を目的としてICT施工関係を熟知した企業・団体を登録し、企業等に対し実践的な支援や技術面のサポートを行うことを目的とした仕組み。
✓ サポートセンターに登録している企業・団体が得意としている活動内容（３D,ICT建機,総合マネジメント,研修等）について相談や指導といったサポート等を依頼することができます。
✓ 詳しくは**ホームページ「国土交通省中国地方整備局 i-Constructionサポートセンター」（下記URLより）をご覧下さい。**
<https://www.cgr.mlit.go.jp/kikaku/icon/index.html>

お問い合わせ先　　岡山市財政局監理検査課　連絡先 086-803-1368